

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	患者安全サミット開催経費			担当部局	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度	担当課室	総務課 医療安全推進室			室長：名越 究	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	世界的な患者安全への取組の推進を図るために、国内外の患者安全(医療安全)の専門家と諸外国の保健担当大臣等政策決定者の議論・意見交換の場を設ける国際会議「患者安全サミット」を日本で開催する。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	当会議は2016年に英国で初開催され、2017年のドイツ開催に続いて今回が3回目となる。今回はアジア初の開催であることから、アジアを中心に多くの参加国を呼び込み、国内外の専門家による世界で類を見ない日本の医療事故調査制度をはじめとした先進的な取組や、高齢社会における安全確保といった、今後世界が直面する重要な課題等に関する議論を通じて、諸外国の指導者に患者安全の重要性や課題等の認識共有を図る。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	86	
		補正予算	-	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	0	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	0	86	
	執行額	0	0	0	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	-	-	-	-	-	-			
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	保健福祉調査委託費	-	86	-					
	計	-	86						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度
	より多く国の政策決定者、 専門家、国際機関等の参加 により、世界各国が患者安全 の取組や課題を認識共有し、 患者安全の推進を図る。  患者安全サミットへの参加 者数(各国政府代表、専門 家、発表者等)	成果実績	人	-	-	-	-	-	
		目標値	人	-	-	-	-	300	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	担当課による推計								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	患者安全サミット開催	活動実績	回	-	-	-	-	-	
		当初見込み	回	-	-	-	-	1	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:予算執行額(開催経費) Y:開催回数	単位当たり コスト	千円	-	-	-	-		
		計算式	X/Y		-	-	-	-	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標 I-3 利用者の視点に立った、効率的で安心かつ質の高い医療サービスの提供を促進すること									
	施策	医療安全確保対策の推進を図ること(施策目標 I-3-2)									
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
					実績値	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)				
		第3回患者安全サミットの開催		・会合プログラムの策定 ・参加者受け入れ体制の充実		30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度 参加国の招待、プログラム策定等</li> <li>平成30年度 会合運営、報告書作成等</li> </ul>				
						施策の進捗状況(実績)					
						-					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
日本開催の患者安全サミットを通じて諸外国の政策決定者に患者安全の重要性や課題等を認識してもらうことは、日本も含め各国の医療安全対策の一層の推進を図ることに寄与するものである。											
経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-											

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	患者安全、患者中心をテーマに議論を行うことは、広く国民のニーズに合致する。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	サミットのホスト国として運営を担う必要があり、世界へ患者安全の推進を図るために、国が主導して本会議を開催することが必要である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	患者安全の取組について、国際会議を通じて諸外国と情報共有や連携を図ることは、医療安全の確保という政策目標達成に向けて、国内の専門家等の意識、資質の向上につながり、有効である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-
平成28年度	-				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

厚生労働省  
86百万円



【一般競争入札】

運営委託業者  
86百万円

サミット開催において、各国関係者との連絡調整や必要な機材・料飲・通訳・警備等の手配、運営業務を実施する。

費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	